

図書館創立130周年
イベント（入場無料）
俳句講座「さくさく作ろう！」
あなたの俳句をアップデート



▼NHK「俳句さく咲く！」
の選者、権未知子さんが先
着30名の俳句を添削します。

日時／2月9日(日)午後2時から
場所／中央図書館 読書室
講師／権未知子氏

北海道生まれ。「群青」共
同代表。著書に「食の一
句」「季語、いただきます」
NHK「俳句さく咲く！」
2017年度選者。

申込開始／1月8日(木)から
※添削希望者は申込後1月26
日までに俳句を提出。

シネマ@図書館

日時／1月25日(土)午後2時から
場所／中央図書館 読書室
上映作品／海よりもまだ深く
※是枝裕和監督・阿部寛主演
申込開始／1月5日(日)から

「海よりもまだ深く」あらずじ
▼ダメ人生を更新中の中年男
は元妻に愛想をつかさかれ養
育費も満足に払えない。た
またま集まった「元家族」
が台風のために帰れなくな
り、一夜限りの家族会議が
始まった。

こども向けイベント
人形劇団木偶による人形劇

日時／1月11日(土)午前11時から
場所／中央図書館 読書室

※申込不要、参加無料
演出／「がんばれカメくん」
「ゆかいなピエロ」・「とう
かくさんとオオカミ」

ご利用ください

「新着案内配信サービス」

▼好きなテーマや作家名など
を登録すると、そのキー
ワードに関する当館新着
資料の一覧を登録された
メールに週1回配信する
サービスです。

登録方法／中央図書館ホーム

ページ蔵書検索の「利用
者のページ」内「新着テ
マ参照」画面から登録
※メールアドレスの登録が済
終了。

んでいない人は図書館ま
たは公民館図書室窓口で
仮パスワードの発行が必
要です。

1月の休館日

▼1月1日(木)～4日(土)・6日
(日)・13日(日)・14日(火)・20
日(月)・27日(月)・30日(木)

※休館中の返却は中央図書館
返却ポストへ。

1月のおはなし会

こども図書館本の森

午前10時30分から
むかしむかしのおはなし会
18日(土)

ひよこのおはなしかい
9日(木)

中央公民館

午後2時30分から
おはなしフレンズ 11日(土)

リサイクルフェア@やさと

日時／1月19日(日)午前9時～
午後3時

※中央公民館まつり2日目
場所／中央公民館相談室

※持ち帰り用の袋を持参して
ください。なくなり次第
終了。

時の記憶
シリーズ165
舟塚山古墳の
被葬者③
文化振興課(支所)
Tel 43-1111(内線1323)



舟塚山古墳周辺の竪穴住居の分布
企画展：舟塚山古墳とその時代
期間：2月2日(日)まで
場所：ふるさと歴史館(総社1-2-10)
休館：年末年始・月曜日(祝日の場
合は翌日)

前
回・前々回と舟塚山古
墳に埋葬されている
被葬者像について推測してき
ました。では、その被葬者が
住んでいた居館(屋敷)はど
こだったのでしょうか。
八郷地区では、佐自塚古墳
の被葬者が住んでいたと考え
られる居館が、佐久上ノ内遺
跡で発見されています。幅3m
ほどの堀で、72m×53mの範
囲を区画したものでした。佐
自塚古墳は全長58mの前方後
円墳ですので、全長186m
の舟塚山古墳の場合は、もっ
と大きなものと予想できま
す。しかし今のところ、石岡
地区ではそのような遺跡は発
見されていません。
一方、舟塚山古墳の周辺で
発掘された竪穴住居を見る
と、舟塚山古墳の築造された
西暦400年前後は少なく、
1000年後の西暦500年
頃から増加する傾向がありま
す。舟塚山古墳の時期には墓
域として利用され、集落や被
葬者の居館は別の離れたところ
にあったのかもしれませんが。

俳句

いしおか俳句同好会

総社 一色 しのぶ
秋蝶の迷いながらの旅路かな
若宮 今川 武男
酒蔵に昭和の匂い柿火花
東光台 野村 洋子
菊大輪笑い過ぎても疎まれる
石岡 前川 豊美
炬燵して本も軀も崩れゆく
総社 山口 美津子
番犬と言葉交はして街小春

やさと俳句会

片岡 馬場 小零
冬芽早や確と生れしよ友癒えよ
山崎 荒井 栗山
見はるかす山は紅葉に輝けり
宇治会 萩原 清
風発ちて蝶の如くに舞ふ落葉

短歌

石岡短歌同好会

井関 木間塚 具子
幾たびも台風の来て倒されし
皇帝ダリア脇芽を伸ばす
高浜 大嶋 全江
世の中に惑はされづに山に住
む歌友は明るく桃源郷と

山崎 若色 茂
父の忌に五人兄弟語り出す初
めての父自分だけの父

八郷短歌会

山崎 鈴木 董
また逢いに来るしメールもす
るからねと手を握りしめ従妹
帰りゆく
山崎 西口 はま子
日の当る縁にセーター解きを
り暮らしの中のひと齣として

俚謡(都々逸)

石岡俚謡会

東大橋 醍醐 正夫
焼いた松茸 ささやかですが
香り豊かな 敬老日
山崎 若色 茂
子等の登校 吐く息白く
爺は旗持つ 冬の朝
鹿の子 田村こまくさ
神に願うも 届かず被災
避難生活 無事祈る
川 又 前島 節子
ふつと見上げりや 北斗の星座
冬の寒さも 熱くする
総社 暁 夢華
聞いたばかりで 又聞き返す
呆れ返るは 山の神

細谷 高橋 真希
針を手にして 七十余年
老いを感じぬ 手の動き

東光台 福田 泰夫
冬は苦手と つぶやく母に
そつと湯タンポ 添えた夜

若松 川崎 洋子
老いは楽しと 見出しの文が
なぜか気になる 本を買う

貝地 前島 くに子
つらい爪跡 台風一過
秋の紅葉 丸つぶれ

川柳

いしおか川柳会

杉並 助川 浩史
もう八十路冥土の土産恋ひとつ
柿岡 関 きみ子
聞くだけではできて相手を喜ばせ
東大橋 醍醐 正夫
日本画にゴッホ惚れたねジャ
ポニズム

投稿作品

石岡 赤津 貞行
先輩と将棋出来るのいつまでか
夕陽は筑波峰に既にかかりて

第16回 石岡茶道会

文化協会だより

現在、表千家裏千家二流派で活動をいたしてあります。

茶道会ですので、お茶会や呈茶を通して皆様にお茶を差し上げることが基本です。特に秋の石岡市文化祭には、市民の皆様にお点前を通しておもてなしをさせていただいております。また各々の流派におきまして初茶、春の茶会、風土記の丘の呈茶等をしてあります。

茶の湯はおいしいお茶とお菓子をいただけることがまず一番ですが、お道具(焼き

物・塗り物・軸)等いろいろな文化にふれることができるのも楽しみの一つです。



年会費/無し 会員数/30名
石岡茶道会(塚原) Tel 26-2385